

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月6日

上場会社名 マミヤ・オーピー株式会社
 コード番号 7991 URL <http://www.mamiya-op.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 滝沢 三規
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 吉野 利彦
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東

TEL 048-710-4800

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	10,637	13.1	391	△61.4	191	△80.3	147	△86.6
20年3月期第3四半期	9,408	△29.4	1,013	8.5	970	40.0	1,104	△87.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	1.58	—
20年3月期第3四半期	11.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	12,039	5,628	46.7	60.33
20年3月期	9,939	5,623	56.6	60.27

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 5,628百万円 20年3月期 5,623百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,700	11.3	795	△32.6	765	△22.8	650	△41.0	6.97

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 93,481,700株 20年3月期 93,481,700株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 185,583株 20年3月期 167,558株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 93,306,689株 20年3月期第3四半期 93,323,373株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が提出日現在で入手している情報及び当社が合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

※前年同期比増減率（前年同期の金額）は、参考として記載しております。

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国発の金融不安が世界的規模の危機へと拡大し、景気の下振れ懸念が深刻化の一途を辿ったことを背景に、輸出・生産そして企業収益の大幅な減少、設備投資水準の低下、株価低迷、急激な円高、不安心理による消費マインド悪化等、先行きへの不透明感が支配的となっていく中で推移しました。

このような経済環境に加え、電子機器事業の主力であるパチンコ関連ビジネス市場の規模縮小が続き、スポーツ事業の主たる市場である米国が大幅な景気後退に陥る等、当社グループとしても、非常に厳しい経営環境に直面する中で、業績向上と持続的成長への基盤の確立に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期の連結累計期間の業績は、売上高は106億37百万円（前年同期比13.1%増）、営業利益は3億91百万円（前年同期比61.4%減）、経常利益は1億91百万円（前年同期比80.3%減）、四半期純利益は1億47百万円（前年同期比86.6%減）となりました。

（電子機器事業セグメント）

当事業セグメントは、パチンコ関連業界の事業環境悪化に対応すべく、三洋電機株式会社より搬送システム事業を買収し、その円滑な引継ぎに万全を期するとともに、営業、開発及び生産が密接に連携した製販一体運営による、更なる効率化を目的として、平成20年11月25日付けで電子機器事業本部を設ける等、様々な施策を講じ業績の維持・向上に努めてまいりましたが、搬送システム事業の引継ぎに係る経費負担等のため、利益水準が下落することとなりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高81億14百万円（前年同期比21.5%増）、営業利益は1億58百万円（前年同期比73.6%減）となりました。

（スポーツ事業セグメント）

当事業セグメントは、国内市場においては、「AXIV」シリーズ及びOEMシャフトの新規顧客獲得に努めましたが、市況低迷の影響を受け、売上高が低迷いたしました。また、海外市場においては、カタログシャフト、OEMシャフト共に拡販に努めると共に、コスト削減には所期の成果を上げましたが、主要市場である米国の景気後退が予想以上に急激であり、市場環境の悪化による業績低下を免れることはできませんでした。なお、当初67期中に一定の成果を見込んでおりましたグローバル・マーケティングの本格的な展開は、来期以降にずれ込むこととなりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高25億22百万円（前年同期比7.6%減）、営業利益は2億33百万円（前年同期比43.9%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（1）資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は120億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億99百万円増加いたしました。これは主として、搬送システム事業買収等により現金預金が13億94百万円減少したものの、売上債権が25億40百万円、棚卸資産が6億12百万円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は64億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億95百万円増加いたしました。これは主として、長期借入金の減少1億98百万円等があったものの、搬送システム事業の買収等により仕入債務が20億27百万円、社債の発行により2億円、等が増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は56億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ4百万円増加いたしました。これは主として、利益剰余金の増加1億47百万円があったものの、為替換算調整勘定が1億42百万円減少したことによるものです。

（2）キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、29億7百万円となり、前会計年度末に比べ16億9百万円減少いたしました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は、次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、1億20百万円の減少となりました。これは主として、仕入債務の増加20億64百万円、税金等調整前四半期純利益2億25百万円、等の資金増加要因があったものの、売上債権の増加26億6百万円、等の資金減少要因があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、15億7百万円の減少となりました。これは主として、定期預金の預入による支出2億90百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出9億87百万円、貸付による支出2億55百万円、等の資金減少要因があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、33百万円の増加となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出2億65百万円等の資金減少要因があったものの、社債の発行による収入2億円、長期借入れによる収入1億円の資金増加要因があったことによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の通期業績予想につきましては、平成20年5月15日付の「平成20年3月期 決算短信」において公表いたしました予想に変更はございません。

しかしながら、現在、当第3四半期連結累計期間における業績の進捗状況並びに依然として厳しい経営環境等を踏まえ業績予想の見直しを検討しており、その結果、通期業績予想の変更が必要となった場合には、その内容が確定次第、速やかに公表いたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

②棚卸資産の評価方法

四半期会計期間末における棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し第2四半期連結会計期間末に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品

通常の販売目的で保有する製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品については、従来、主として先入先出法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として先入先出法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,162,627	4,557,162
受取手形及び売掛金	4,978,222	2,437,491
有価証券	12,416	12,416
製品	713,416	571,426
仕掛品	482,837	268,190
原材料及び貯蔵品	1,167,443	911,349
繰延税金資産	15,520	15,971
その他	155,050	140,308
貸倒引当金	△15,963	△10,144
流動資産合計	10,671,571	8,904,172
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	487,255	848,187
減価償却累計額	△288,986	△526,008
建物及び構築物(純額)	198,269	322,178
機械装置及び運搬具	1,087,139	1,223,294
減価償却累計額	△904,438	△1,032,481
機械装置及び運搬具(純額)	182,701	190,812
工具、器具及び備品	678,482	1,039,155
減価償却累計額	△583,622	△932,814
工具、器具及び備品(純額)	94,860	106,341
土地	1,913	3,449
建設仮勘定	11,677	2,659
有形固定資産合計	489,421	625,442
無形固定資産		
のれん	186,255	—
その他	8,657	7,245
無形固定資産合計	194,913	7,245
投資その他の資産		
投資有価証券	56,230	22,730
長期貸付金	815,631	594,879
繰延税金資産	18,486	16,495
その他	588,008	593,274
貸倒引当金	△795,136	△824,989
投資その他の資産合計	683,219	402,389
固定資産合計	1,367,553	1,035,076
資産合計	12,039,125	9,939,249

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,975,457	1,947,765
短期借入金	547,621	514,285
未払法人税等	47,829	23,854
賞与引当金	24,994	59,106
その他	268,189	224,557
流動負債合計	4,864,091	2,769,569
固定負債		
社債	160,000	—
長期借入金	829,758	1,028,571
退職給付引当金	472,523	436,197
役員退職慰労引当金	25,154	20,262
その他	59,429	60,950
固定負債合計	1,546,865	1,545,980
負債合計	6,410,957	4,315,549
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,958,747	3,958,747
利益剰余金	1,466,972	1,319,254
自己株式	△30,251	△29,202
株主資本合計	5,395,467	5,248,799
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	232,700	374,900
評価・換算差額等合計	232,700	374,900
純資産合計	5,628,167	5,623,699
負債純資産合計	12,039,125	9,939,249

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	10,637,111
売上原価	8,121,626
売上総利益	2,515,485
販売費及び一般管理費	2,124,349
営業利益	391,135
営業外収益	
受取利息	8,053
受取配当金	705
固定資産賃貸料	30,895
その他	21,694
営業外収益合計	61,349
営業外費用	
支払利息	24,886
為替差損	185,604
その他	50,908
営業外費用合計	261,400
経常利益	191,084
特別利益	
固定資産売却益	64
貸倒引当金戻入益	36,877
特別利益合計	36,942
特別損失	
固定資産売却除却損	898
減損損失	1,536
特別損失合計	2,434
税金等調整前四半期純利益	225,591
法人税、住民税及び事業税	83,271
法人税等調整額	△5,397
法人税等合計	77,873
四半期純利益	147,717

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
売上高	4,788,867
売上原価	3,830,160
売上総利益	958,706
販売費及び一般管理費	667,719
営業利益	290,987
営業外収益	
受取利息	3,072
固定資産賃貸料	10,298
その他	3,220
営業外収益合計	16,591
営業外費用	
支払利息	8,448
為替差損	136,957
その他	10,583
営業外費用合計	155,989
経常利益	151,590
特別利益	
固定資産売却益	0
貸倒引当金戻入益	15
特別利益合計	15
特別損失	
固定資産売却除却損	838
減損損失	1,536
特別損失合計	2,375
税金等調整前四半期純利益	149,230
法人税、住民税及び事業税	42,145
法人税等調整額	△3,601
法人税等合計	38,543
四半期純利益	110,686

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	225,591
減価償却費	150,656
のれん償却額	32,868
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△23,884
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△31,430
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	36,325
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4,892
受取利息及び受取配当金	△8,758
為替差損益 (△は益)	185,604
支払利息	24,886
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,606,010
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△55,920
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,064,424
その他	△58,856
小計	△59,610
利息及び配当金の受取額	7,718
利息の支払額	△18,096
法人税等の支払額	△50,913
営業活動によるキャッシュ・フロー	△120,901
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△290,000
定期預金の払戻による収入	75,000
有形固定資産の取得による支出	△65,843
有形固定資産の売却による収入	3,731
投資有価証券の取得による支出	△19,500
投資有価証券の売却による収入	9,510
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△987,000
貸付けによる支出	△255,000
貸付金の回収による収入	34,248
その他	△12,332
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,507,187
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	100,000
長期借入金の返済による支出	△265,476
社債の発行による収入	200,000
自己株式の取得による支出	△1,049
財務活動によるキャッシュ・フロー	33,473
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14,920
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,609,535

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年12月31日)

現金及び現金同等物の期首残高	4,517,162
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,907,627

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期連結会計期間（自平成20年10月1日 至平成20年12月31日）

	電子機器 事業 (千円)	スポーツ 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	3,764,249	1,024,618	4,788,867	-	4,788,867
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	3,764,249	1,024,618	4,788,867	-	4,788,867
営業利益	178,996	111,990	290,987	-	290,987

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	電子機器 事業 (千円)	スポーツ 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	8,114,267	2,522,843	10,637,111	-	10,637,111
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	8,114,267	2,522,843	10,637,111	-	10,637,111
営業利益	158,019	233,115	391,135	-	391,135

(注) 1. 製品の種類、性質、製造方法、販売方法等の類似性、損益集計区分及び関連資産等に照らし、事業区分を行っております。

2. 各区分に属する主な製品は以下のとおりであります。

- (1) 電子機器事業……………パチンコ関連機器、小型自動券売機、OEM機器
- (2) スポーツ事業……………ゴルフ用品、遮断棒

〔所在地別セグメント情報〕

当第3四半期連結会計期間（自平成20年10月1日 至平成20年12月31日）

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	3,871,145	42,659	875,062	4,788,867	-	4,788,867
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	476,461	16,526	492,988	(492,988)	-
計	3,871,145	519,120	891,589	5,281,855	(492,988)	4,788,867
営業利益	169,134	28,318	92,832	290,285	702	290,987

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	8,491,451	255,581	1,890,078	10,637,111	-	10,637,111
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	1,154,455	27,811	1,182,266	(1,182,266)	-
計	8,491,451	1,410,036	1,917,889	11,819,377	(1,182,266)	10,637,111
営業利益	136,278	56,299	186,701	379,279	11,856	391,135

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2. 各区分に属する主な国又は地域は以下のとおりであります。
 (1) アジア……………バングラデシュ、中国
 (2) 北米……………米国

[海外売上高]

当第3四半期連結会計期間（自平成20年10月1日 至平成20年12月31日）

	北米	欧州	アジア	その他	計
I 海外売上高（千円）	255,510	73,374	676,536	5,042	1,010,464
II 連結売上高（千円）	-	-	-	-	4,788,867
III 海外売上高の連結売上高に占める割合（%）	5.4	1.5	14.1	0.1	21.1

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	北米	欧州	アジア	その他	計
I 海外売上高（千円）	1,050,490	173,658	1,293,419	9,409	2,526,978
II 連結売上高（千円）	-	-	-	-	10,637,111
III 海外売上高の連結売上高に占める割合（%）	9.9	1.6	12.2	0.1	23.8

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2. 各区分に属する主な国又は地域は以下のとおりであります。
 北米……………米国、カナダ
 欧州……………ドイツ、イギリス
 アジア……………中国、シンガポール
 その他……………南米、オセアニア
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
 該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日～12月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	9,408
II 売上原価	6,585
売上総利益	2,823
III 販売費及び一般管理費	1,810
営業利益	1,013
IV 営業外収益	101
受取利息及び配当金	20
その他	80
V 営業外費用	144
支払利息	37
その他	107
経常利益	970
VI 特別利益	300
VII 特別損失	39
税金等調整前四半期純利益	1,231
税金費用	126
四半期純利益	1,104

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日~12月31日)

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,231
減価償却費	78
退職給付引当金の増減額(減少:△)	△50
役員退職慰労引当金の増減額(減少:△)	18
投資有価証券売却益	△299
固定資産売却損益(益:△)	2
売上債権の増減額(増加:△)	1,378
たな卸資産の増減額(増加:△)	△276
仕入債務の増減額(減少:△)	△778
その他	64
小計	1,370
利息及び配当金の受取額	20
利息の支払額	△24
法人税等の支払額	△127
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,238
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の売却による収入	778
有形固定資産の取得による支出	△90
定期預金の解約による収入	10
その他	△100
投資活動によるキャッシュ・フロー	596

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額 (百万円)
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	1,800
長期(短期)借入金の返済による支出	△2,215
その他	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△417
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△8
V 現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)	1,409
VI 現金及び現金同等物の期首残高	3,926
VII 現金及び現金同等物の期末残高	5,336

(3) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（平成19年4月1日～12月31日）

	電子機器事業 (百万円)	スポーツ事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高	6,678	2,730	9,408	-	9,408
営業費用	6,080	2,315	8,395	-	8,395
営業利益	598	415	1,013	-	1,013

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（平成19年4月1日～12月31日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	北米 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高	7,146	1,806	1,745	10,698	(1,289)	9,408
営業費用	6,525	1,714	1,443	9,684	(1,289)	8,395
営業利益	620	91	301	1,013	(0)	1,013